

廃棄繊維のアップサイクル「Colour Recycle System」



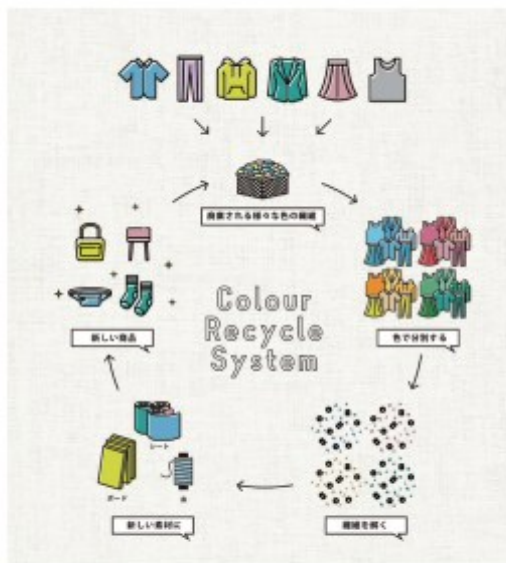
プロジェクト概要

廃棄繊維を色で分ける魅力的なアップサイクル

株式会社colourloopでは、素材で分別することが難しい繊維素材を、色で分けてリサイクルすることにより、さらに魅力的な素材にする研究をはじめ「Colour Recycle System」を生み出した。

色で分けてアップサイクルすることで、破れたり褪せたりした廃棄繊維も有効利用できる。染料を使用せず繊維そのものを色材として再利用するため、より環境への負荷を低減。

解かれた繊維は、糸や紙、繊維強化プラスチックと多岐にわたる製品に生まれ変わる。また、さまざまな色の素材を使用することで、他にはない深い色合いや独特の素材感を実現している。



< Colour Recycle System の流れ >

Rethink Designのポイント

「色」を取り入れたデザイン性のある新しいリサイクルシステムの構築

<Rethink: モノ自身やその関わり方に対する価値の捉えなおし>

- 繊維のリサイクル率は他の素材に比べて極端に低い。2種類以上の素材を使用している衣類が多い、古着はネームタグの紛失、退色もあり、分別が難しい等の要因がある。そうした中、消費者にとってワクワクするような魅力ある商品を目指したいと考え、「色」に着目した。

<Design: 価値をデザインするまでの歩み>

- 株式会社colourloop代表の内丸氏は、従来の工学中心のリサイクルシステムに、色を取り入れたデザイン性のある新しいリサイクルシステムの構築に着眼し、博士課程で繊維リサイクル研究をスタート。研究を社会実装する形でプロジェクトに取り組んでいる。
- 協力企業等の連携のもと、Colour Recycle Systemのコンセプトに基づく、WFRP(繊維強化プラスチック)素材や製品を開発。WFRPでは、繊維を色材としてまた強化材として使用しているため、深い色合いと独特の素材感、さらには強度や弾性率等の優れた機械的特性がある。
- 素材は、押出成形、射出成型、シート、糸・布、紙、圧縮フェルト、ボードとして提供。様々な用途展開を狙って試作を繰り返してきた。

プロジェクト関係者

(株) colourloop	企画・開発・製造・販売
Colour Recycle Network	素材開発、運営支援
(株)東谷商店	廃棄繊維の資源化
(株)ロングリーチ	製造
ナカノ(株)	廃棄繊維の資源化
(株)アボード	インテリア・家具デザイン

